

【生薬製剤】

強 腰 冷 散

第2類医薬品

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヶ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。
 むくみ
(6) 次の診断を受けた人。
 高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 1ヶ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

腰痛、坐骨神経痛

用法・用量

次の量を食前又は食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「食間」とは食後2~3時間を持ちます。

年 齢	1回量		1日服用回数
	容器入りの場合	分包品の場合	
大人	1.5g(添付のサジ1.5杯)	1包	3回
10歳以上15歳未満	大人の2/3の量(1.0 g)	2/3包	
5歳以上10歳未満	大人の1/2の量(0.75g)	1/2包	
5歳未満	大人の1/3の量(0.5 g)	1/3包	

〈用法・用量に関する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- (4) 生後3ヶ月未満の乳児には服用させないこと。

成分・分量

本剤4.5g又は3包中

ソウジュツエキス……………0.723mL(固形物として0.074g)

ソウジュツエキス………1.453g
カンキヨウ……………2.907g } エキス………1.675mL(固形物として0.066g)

カンゾウ末………1.453g

ブクリヨウ末………2.907g

・本剤は淡褐色で、特異なにおいを有し、味は甘い散剤です。

・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがあります、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

強腰冷散は生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤のことをご理解いただいている医師、薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剤盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元

剤盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号